

有限会社サンキョークリーンサービス 山崎 智秀

10月15日(土)と16日(日)の両日に開催された江東区民まつりの害虫相談所に参加させていただいた。震災のこともあり、今回の江東区民まつりでは、会場内に被災地応援コーナーを設置して東北地方物産展を開催していました。初日の朝はテントが飛ばされるのでは！と思う程の強風と雨で、昆虫のバルーンやノボリをテントに設営するのも大変でしたが、お昼前には雨もやみ、まばらだった来場者が段々と増えてきたのですが。

協会のハッピーを着てチラシやマグネットを配ってみても、急に害虫にお困りでは？と聞かれてもピンッとこないのか、ゴキブリ等が出ているのが恥ずかしいのか、来場者になかなか相談ブースまで来てもらえない。協会の方が作成したクイズや、ハチ用の防護服、そして一番人目を引いた実物のスズメバチの巣！協会のリーフレット・マグネットを配りつつようやく一人目のご相談者がいらっしました。初の相談者の相談内容は、「ネキ

リムシ」、どこかで聞いたことがある名前ではあるが、自分の持っている昆虫知識を総動員しても「俗称」で園芸の品種の根を喰害する何かの幼虫であるとは判らなかつたうえ、相談者の言う薬剤名も園芸用薬品名なのか、主成分も判らない有様だった。有益な助言をすることが出来ず悔しい思いのままに向かえた2人目の相談者の相談内容もなんと、「ネキリムシ」。初日の相談内容で一番印象に残った名前でした。

そして2日目は一転して好天に恵まれ、初日より多くの人出が予想されました。相談所にも大勢の方に来ていただき、とても盛況なブースになったのではないかと思います。ハチ用の防護服と記念写真を撮る人たちや、スズメバチの巣を恐々と触って見る人たち、協会の方が用意した飴欲しさに友達を呼んでまた飴を貰いに来る微笑ましい子供たち。協会の方と参加した各社の相談員の方々もとても大忙しな2日目になり、相談内容もゴキブリ



ありネズミあり、ハチありと多様になってきましたが、ベランダに虫がでると相談にいらっしゃる方の中で、ちょっと自分の求めている方法はないのではないかと考えていらっしゃる相談者が印象に残りました。相談内容はベランダで育てている紫蘇(シソ)につく虫をどうにかしたい。確かに口に入れる食材ですから、殺虫剤の使用は避けたいでしょう、食器の様に洗ったから大丈夫とは、心情的に言いかねます。心情的に抵抗感がなく、それでい

て結果も出さなければならない、そんな薬剤があるのかと思いつつ、拙い知識の中から知っている方法を幾つか試して頂いたと思うが、結果は出たのだろうか。

この2日の江東区民まつりに参加させて頂いたのはとても有意義であったと感謝しています。園芸の相談が多く寄せられ、防虫・防疫への考え方や取り組み方を改めて考えさせられた2日間でした。次の機会もぜひ参加させて頂ければ幸いです。

